

課程	医療専門課程	学科	作業療法学科		
授業名,属性	学習支援演習 I	必修	1年通年	20コマ・40時間	
担当教員	中村 由美	背景			
授業形態	演習	実務家教員 でない			
受講ルール	共通ルール				
受講条件	特になし				
教科書等	知へのステップ 第4版 くろしお出版				
授業概要	作業療法士になるために必要な学ぶ力、基本的な態度を身につける。				
狙いと到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の整理ができる。</li> <li>・自ら疑問を持ち調べ、解決することができる。</li> <li>・コミュニケーションがとれる。</li> <li>・組織の中で、ルールを守り役割を果たせる。</li> </ul>				
授業において実務経験をどのように生かすか	<p>組織の一員としての社会人経験、教員として学生と関わってきた経験を生かし、効率的な学習、社会人としての態度が身に着けられるよう支援する。</p>				
授業計画・内容					
1	勉強の仕方を考える(資料整理・ノートのとり方・レポートの書式)				
2	クラス目標・個人目標の設定と委員会の決定				
3	コミュニケーション(自分を知る・あいさつチェック・ワークショップ)				
4					
5	リーディング①テキストの読み方の基本(分析読み)				
6	リーディング②文章を読んで疑問を持ち調べることができる 要約することができる				
7					
8					
9	リーディング③文章を読んで感じたこと、意見を賛成・反対の立場から考える。				
10	グループごとに発表する。				
11	後期オリエンテーション(前期振り返りと後期学事歴の確認)				
12	ライティング①(わかりやすい文章・レポートの書き方の基本・発表の仕方の基本)				
13	ライティング②(調べたいテーマの決定と文献検索)				
14	ライティング③レポート作成:1000字以上				
15	(事実と意見を区別・根拠ある主張ができる)				
16	ライティング④発表ができる。質問ができる(発表3分・質疑応答2分)				
17	解剖学実習前準備①解剖学実習に向けての心構えとグループ・個人課題設定。				
18	解剖学実習前準備②解剖学実習に向けてのグループ学習				
19	解剖学実習前準備③解剖学実習オリエンテーションと課題遂行度チェック				
20	解剖学実習後の振り返り				
評価方法	①出席 ②レポート提出(期限を守る) ③発表				
自由記述 (メッセージ)	第1回ではノートあるいはルーズリーフを教科分用意する				

課程	医療専門課程	学科	作業療法学科		
授業名,属性	学習支援演習Ⅱ	必修	2年通年	20コマ・40時間	
担当教員	加藤 和貴	背景			
授業形態	演習	実務家教員 でない			
受講ルール	共通ルール+私語は他人に配慮した範囲				
受講条件	特になし				
教科書等	教科書:PTOTのためのコミュニケーション実践ガイド, 医学書院				
<b>授業概要</b> 実践を通してコミュニケーション力、及び文章力をつける 良い作業療法士になるために必要とされる視点や認知について見学、考える機会、練習する機会を得る					
<b>狙いと到達目標</b> 治実習・臨床現場で学ぶための基礎となる学生基礎力(健康・学習・社会性・コミュニケーション)を身につける。臨床現場に立つ作業療法士としての視点および医療従事者としての自覚を確立していく。					
<b>授業において実務経験をどのように生かすか</b> 職務を遂行する上で最も有益だったのは当事者、先人たちから学んだ経験知である。そして対象者について考える上で作業的存在としてとらえる大切さを実務経験から学んだ。それらを踏まえ作業療法の視点で捉える要素や要点を提示していきたい。					
<b>授業計画・内容</b>					
1	委員会・クラス目標作成	意味のある学生生活について考える			
2	学生基礎力シートの作成	自己を知り客観視する			
3	ハンセン病について考える				
4	日常の中の作業療法(スポーツの作業分析)～スポーツデイにむけて～				
5～6	医療従事者として知っておくべき歴史(ハンセン病記念館見学)				
7	作業療法士の視点				
8	文章力 レジメの理解	デリノート・考察			
9	作業の意図性 学校行事の中での学び ～夏祭りに向けて～				
10	演習Ⅱに向けての目標 より充実したものとするために考える				
11	作業療法士になることに向き合う 演習Ⅱを振り返って 今後すべきこと				
12	日常の中の作業療法的視点について考える				
13	コミュニケーション①	自己のコミュニケーション			
14	コミュニケーション②	臨床現場における良いコミュニケーション			
15～16	コミュニケーション③	インプロワークショップ(即興演劇)			
17	文章力③レポート作成				
18	職業人として作業療法士を考える				
19	今後すべきこととして掲げた取り組みの振り返り				
20	本学年を振り返り、次学年の取り組みに活かす				
評価方法	レポート・出席状況を併せて評価する				
自由記述 (メッセージ)	他者に関わるということ。このことをきちんと時間をとって考えてほしいと思っています。そのための手掛かりとなる視点の講義を行う予定です。作業療法士になるという自覚と責任、楽しさ、そして不安。これらを統合した上で血肉とできる強さを持つよう、自己管理についても考えていきましょう。				